

生命理工学研究科修士課程 物質理学コース カリキュラム・マップ

養成する人材像

生命理工学研究科生命理工学専攻(修士課程)では、「科学的根拠(サイエンス)に基づいた、術(アート)を備えた慈愛(ハート)のある医療人の創生」を目的として、分子レベルでの生命科学から創薬、および化学療法と人間工学を基盤とし、健康の維持と増進に寄与し、医療現場の中核となりうる深い知識と研究能力・実践力を兼ね備えた研究者・技術者・医療人を養成する。

ディプロマポリシー

<p>DP1</p> <p>生命科学・薬学、若しくは健康医療・人間工学に関する諸問題を認識し、これらの問題に研究者・技術者・医療人として柔軟に取り組むことができる。</p>	<p>DP2</p> <p>生体物質の構造や機能に関する深い学識と研究能力、若しくは健康医療に関わる工学的手法について高い技術力・高度な研究能力を修得している。</p>	<p>DP3</p> <p>研究者・技術者・医療人として、問題解決能力およびコミュニケーション能力を修得している。</p>	<p>DP4</p> <p>生命科学、薬学、若しくは健康医療、人間工学の専門領域における理論と技術を創造的に展開できる能力を修得している。</p>
--	--	---	---

学会発表・学位論文作成

2年	後期	物質理学特別研究 II	物質理学特別講義 II	物理化学特論 生体機能特論 生体物質特論 物質構造特論 毒性学特論 生命科学特論 I	生命科学特論 II 天然物化学特論 有機化学特論 生化学特論 生命科学特論 構造生物学特論
	前期				
1年	後期	物質理学特別研究 I	物質理学特別講義 I		
	前期				

技能	問題解決能力	情報収集能力	語学力	知識	論理的思考力
----	--------	--------	-----	----	--------

カリキュラム・ポリシー

<p>CP1</p> <p>研究者・技術者・医療人として諸問題に柔軟に対応できる素養を身につけ、深い学識・高度な研究能力・技術力を養うために、物質理学コースにおいては、「物質理学特別研究 I」、「物質理学特別研究 II」および「物質理学特別研究 I」、「物質理学特別研究 II」および選択科目を配置する。</p>	<p>CP2</p> <p>必要な問題解決能力を養い、コミュニケーション能力を身につけるために、物質理学コースにおいては、「物質理学特別研究 I」、「物質理学特別研究 II」および「物質理学研究講義 I」、「物質理学研究講義 II」ならびに選択科目を配置する。</p>	<p>CP3</p> <p>研究者・技術者・医療人としての理論と技術を創造的に展開できる能力を養うために、多様な科目を配置する。</p>
--	--	--

アドミッション・ポリシー

<p>AP1</p> <p>生命科学・薬学あるいは健康医療・人間工学の何れかの分野に強い興味と関心を持っている人</p>		
<p>AP2</p> <p>大学学部教育における生命科学や薬学、健康医療・人間工学の学修内容について、基礎的な知識や能力を身につけている人</p>	<p>AP3</p> <p>国際的に活躍できる研究者・技術者・医療人になりたいという意志と目標を持っている人</p>	<p>AP4</p> <p>確かなコミュニケーション能力、外国語の基礎力を持っている人</p>